

# 働きやすい職場づくり通信

働きやすい職場づくり  
推進委員会

第1号

みなさんは、ご存じでしょうか？ 本校の校務分掌の中に「働きやすい職場推進委員会」をいう組織が存在することを…。そして、その長が誰であるかということ…。大げさな書き出しになりましたが、合戦場小の教職員の関係がよりよくなるといいなあという思いで第1号を発行しました。お時間のあるときに、読んでいただけたら幸いです。



テーマは「ウェルビーイング」です。

「教室の窓」という教育情報誌に載っていた慶応義塾大学の前野隆司教授のお話です。

## やってみよう! 因子

自己実現と成長の因子

(キーワード)・やりがい・主体性・夢や目標・自己肯定感

## ありがとう! 因子

つながりと感謝の因子

(キーワード)・感謝・利他・親切・多様なつながり・対話

## なんとかなる! 因子

前向きな楽観的な因子

(キーワード)・ポジティブ・楽観・自己受容

## ありのままに! 因子

独立と自分らしさの因子

(キーワード)・人の目を気にしない・本来感・個性

ウェルビーイングについて心理学研究が行われてきた結果、さまざまなことが分かっている。幸せな人は視野が広い、幸せな人は創造性が高い、幸せな人は友達が多い、幸せな人は健康長寿、などなど。そこで、幸せに関連することが分かっている項目について日本人 1,500 人にアンケートを行い、その結果を因子分析して、幸せの4つの因子を求めた。これらを満たしている人は幸せな傾向が、そうでない人は不幸せな傾向がある。これら4つを満たしている人は幸福度が高く、どれかを満たさないと幸福度が下がり、全てが低い人は最も幸福度が低いということが分かっている。・・・だそうです。



「ありありなんやっ!」というかけ声があるそうです。

(4つの因子の上二文字をつなげたもの)

私もそっと唱えてみたいなと思いました。

## 有子のひとりごと

日曜日に佐野で、ジブリ「君たちはどう生きるか」を観てきました。ちょっと前に、「風の谷のナウシカ」のマンガ全7巻を大人買いして読んでいたので、何かつながる人生観を感じました。

今、映画って2,000円もするんですね。びっくりしました。

# 働きやすい職場づくり通信

働きやすい職場づくり

推進委員会

第2号

ひとことで  
優しさがわいてくることばがある

ひとことで  
勇気がでてくることばがある

ひとことで  
きづつくことばがある

明日がみえないことばです

ほんとうのことば  
みえてくることばです

ことばは、こころとひとつです

突然の通信発行でしたが、「私もナウシカ全巻持ってるよ」「映画 2,000 円なんだね」「60 歳すぎると映画安いのよ」等、声を掛けていただき、とても嬉しかったです。

みなさんからのことばに嬉しくなったとき思いだしたことがありました。それは羽山先生が職員室廊下に掲示してくださった詩です。

テーマは「ウェルビーイング②」です。「教室の窓」という教育情報

誌に載っていた慶応義塾大学の前野隆司教授のお話、その2です。

次期教育振興基本計画では、教育活動全体でウェルビーイングを向上することの重要性が掲げられている。いよいよ、本格的に、児童生徒と教職員のウェルビーイングを重視する方針が示されたわけだ。小・中学校の教職員に方の中には、これまでの仕事に加えて得体の知れないウェルビーイングもやらなければならないのではないかといぶかる向きもあるようだが、心配ご無用。児童生徒と教職員の体と心の良い状態を大切にしよう！といっているのだから、怪しいものでも、あやふやなものでも、負担が増えるものでもない。・・・中略・・・

それから、もう一つ。

教職員のウェルビーイングも大切である。やりがいを感じ、教職員間の信頼関係を感じ、エンカレッジし、感謝し合いながら働く人は幸せだ。幸せな人は創造性が3倍高く、生産性が3割高いという研究結果もある。ぜひ、皆さん自身のウェルビーイングを大切にし、そのうえで、子どもたちのウェルビーイング、世界のウェルビーイングを目指していただきたい。



前野教授のお話にあるように、子どものウェルビーイングを大切にするためには、自分のウェルビーイングを大切にすることが前提にあるということに、改めて気付かされました。

## 有子のひとりごと

まだまだ秋らしい陽気とは言えませんが、私がひそかに秋を感じているものがあります。それはビールの容器です。キ〇ン「秋味」のイラストが一番気に入ってます。「限定醸造」なんて書いてあるとついつい買ってしまいます。そして、すぐに飲んでしまうのです。

# 働きやすい職場づくり通信

働きやすい職場づくり  
推進委員会

第3号

働きやすい職場づくり推進委員会は、私を含めて6人のメンバーで構成されています。メンバーの方とお話して「なるほど!」と思ったことを紹介します。

テーマは「働くときのヒント」です。

Hさんの話

最近、体重が気になるので、階段の上り下りをする運動になってちょうどいいですよ。



Hさんが階段や廊下を掃除してくださっていたときの立ち話です。この話を聞いて、働くことをポジティブに捉えていて「なるほどな〜」と思いました。私もちょっと面倒だなと思う仕事も、いい運動になるぞ! と思って気持ちよく働きたいなと思いました。

「ひよこ」が返ってくると、相手にメモが伝わったと確認できていいですよ。

Hさんの話

折り返しの電話をお願いすることをメモで伝えることは、みなさんもあると思います。そのとき、相手にメモの内容が伝わったかどうかの確認まで、私はしていませんでした。確かに大切な内容の時は、間違えずに伝えることが必要です。そこでHさんは、メモに「ひよこ」のクリップをとめて相手の机に置いておくそうです。「ひよこ」が返ってくること、内容が伝わったことを確認ができるという工夫です。



「働きやすい職場」って何だろう?と考えたとき、こうしたちょっとした考え方や工夫が大切なのかなと思いました。そして、そこには同僚への思いやりもあるのかなと思いました。

## 有子のひとりごと

新しく自分用のスリッパを「しま〇ら」で購入しました。履き心地、見た目などすべてが今まで生きてきた中でベスト1のスリッパです。590円で購入したのですが、履くたびにとてもいい気持ちになります。ちょっとしたものでもお気に入りがあるだけで元気がでるなと思いました。

# 働きやすい職場づくり通信

働きやすい職場づくり

推進委員会

第4号

毎日ルーティーンで行うことを考えてみると、連絡帳・宿題の確認、健康観察、給食の準備・片付けなど、さまざまなことがあります。今回はその中の一つです。

## テーマは「宿題の確認について」です。

私は若い頃、休み時間などを使って、宿題を一つずつ見ては名簿にチェックをしていました。時間がほんとうにかかって苦しかったです(T-T)確認方法に「これが絶対！」というものはないと思いますし、学級の実態もあると思いますので、ご参考までに！

### ◎朝の会でノートの数を数える。

児童数分あれば、それで確認は終了です。簡単！

### ◎班ごとに児童が集めて持ってくる。



### ◎出席番号をノートの右上に書き、児童が番号順に並べて提出する。

### ◎児童数分のシールを用意しておいて、貼っていく。

これは補教で伺ったクラスで見つけた工夫です。この先生は連絡帳の確認にシールを使っていました。シールを先に人数分にしておくという発想がナイスアイデアです。

### ◎朝、学校に来た子から確認して返してしまう。

これは、私がやっていた方法です。学校に来たら、まず連絡帳を書いて、宿題と一緒に私に持って来させました。その場で確認して返すので、返却の手間もありません。また、一日1回全員と話をする貴重な場面にもなっていました。また、音読カードはつくらずに、保護者の方には、連絡帳の「◎音読」の下に◎○△を書いてもらいました。話は脱線しますが、連絡帳で、漢字・ローマ字「一文字テスト」をしていたこともあります。



毎日、ルーティーンで行っている業務は、当たり前すぎて改めて考えることはあまりないのではないのでしょうか。しかし、毎日行うことだからこそ、見直すことが大切だと感じました。1日10分間の改善が、月～金曜日で50分間の改善に、これが4週間になると約2時間半になります！

#### 有子のひとりごと

初めて「おせち料理」をネット注文しました。これまで、ちょっと高額なので買うのを悩んでいたのですが、カードのポイントを使って思い切ってみました。12月31日に届くので、とーーーーっでも楽しみです！！おいしい食べ物・飲み物は、元気を与えてくれますね。

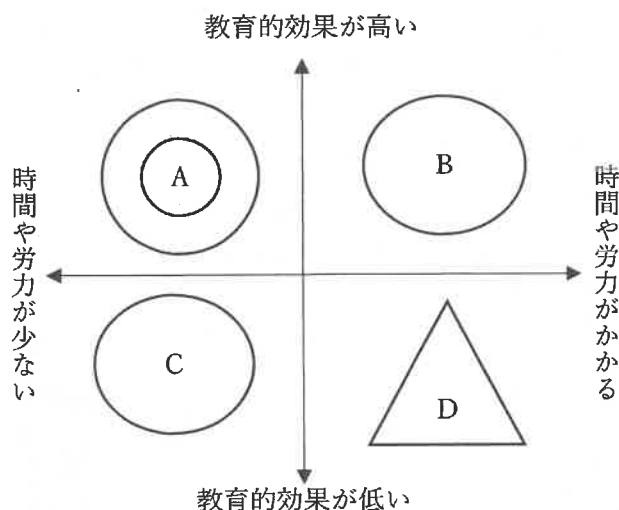
# 働きやすい職場づくり通信

働きやすい職場づくり  
推進委員会

第5号

令和6年がスタートしました。令和5年度のまとめをするとともに、令和6年度の計画を立てる時期ともいえます。私も担当として、「合小の教育」の検討をみなさんをお願いすることになります。そこで、今回のテーマは・・・

テーマは「計画を立てるとき」です。



左の図をご覧ください。

Dの計画がよくないことは一目瞭然です。Cの計画も実行する価値があまり高くありません。

しかし、Bの計画とAの計画を比べるとどうでしょう？Bがよくないとは言いきれない、または、どうしたらBをAにしたらよいか難しいという意見もあるのではないのでしょうか？

では、料理に例えてみましょう。手間ひまかけておいしい料理を作るから、簡単でもおいしい料理が作ることができたらどうでしょう？（簡単でまずい料理、手間ひまかけてまずい料理は、だれも食べたくないですね。）つまり、ローリスク・ハイリターンな計画です。

次にどうしたら、そのような計画が立てられるかですが、ここで「アルゴリズム」が役に立ちます。それは、また次回のお話で！



さまざまな校務分掌で計画を立てることがあると思います。合戦場小にある計画は、これまで本校に勤務した先生方が考えてくださった貴重な資料であることはいまでもありません。しかし、時代に応じて変えていくことも必要です。また、計画を見直すことで、次年度の方が働きやすくなることもあると思います。ぜひ、計画を立てるときは「働き方改革」の視点もお願いします。

## 有子のひとりごと

私が好きなことのひとつに「昼寝」があります。寝室に行ってしっかり寝るときもあれば、こたつでうとうとすることもあります。毎回、家族に「また、寝てる」と冷たい言葉を投げかけられ、昼寝をするたび罪悪感にさいなまれていました。しかし、私はやっぱり「昼寝」が大好きなのです。なので、罪悪感もたず、「私は昼寝が好き！」とすることにしました。好きなものは、好き！

# 働きやすい職場づくり通信

働きやすい職場づくり

推進委員会

第6号

前回の通信を読んでもくださった方は、今回のテーマはお分かりだと思います。そうです！  
今回のテーマは・・・

## テーマは「アルゴリズム」です。

言葉だけ聞いたら、難しそうに感じるかも知れません。意味は、コンピューターで計算を行うときの「計算方法」のことだそうです。しかし、広く考えれば何か物事を行うときに「やり方」ともとらえることができます。多分、みなさんも無意識に行っていることです。

また料理に例えてみましょう。星型のにんじんの輪切りを作るとき、みなさんなら、どうしますか？

方法1：にんじんを輪切りにしてから、1つ1つ星型にする

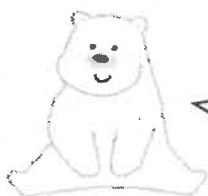
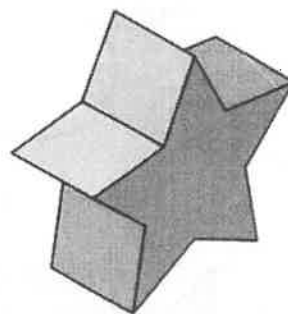
方法2：にんじんを星型にしてから、輪切りにする

方法2の方が包丁を入れる回数が少なくて済むことが分かります。キャベツの千切りなんかでも、葉っぱを一枚一枚千切りにするより、10枚くらい重ねてやった方が速くなりますよね。

では、学校で活かせる場面は、どのようなときでしょうか？

- ◎児童の提出物を効率的に集めることはできないかな？
- ◎活動の回数を減らしても、効果を持続できないかな？
- ◎活動の手順で工夫できるところは、ないかな？
- ◎毎日行うことなので、動線を整えることはできないかな？
- ◎児童の活動に適した場所は、他にないかな？

やりにくさを感じたら、それは改良するチャンスかもしれません！！



NHK for school の「テキシコー」という番組もとても面白いです。頭の中で手順を組み立てたくなるような実験、手順の組み合わせを改善していきたくなることを伝えるアニメーション、さまざまな仕事の中にプログラミング的思考が活かされていることを伝えるコーナーなど。大人にもおすすめです！

### 有子のひとりごと

「昼寝をすると、夜眠れません」というご意見を聞きましたので、みなさんお気をつけください（笑）。（ちなみに私は夜もよく眠れます）さて、今回も好きなことシリーズです。「ただいま」と玄関で大きな声で言い、「おかえり」と強制的に家族に大声で言わせています。夫、娘たち（高3・高1）は、あまり言ってくれないのですが、息子（中1）が元気に答えてくれます。この前は、私が帰ってきたとき息子は風呂に入っていたのですが、風呂から言っていたと娘が教えてくれました。